

聴取した意見・回答の報告と対応一覧表

開催日時	令和7年12月14日(日) 10時～12時	会場	梅が丘市民センター
相手方名	川西・梅が丘地域づくり協議会	参加人数	21 人
出席議員	坂本直司 細矢一宏 三原淳子 木平秀喜 幸松孝太郎		
	質問・意見	懇談会等での返答	対応
1	梅が丘地区下水道移管検討委員会を設立し、移管を市に要望しているが進まない。下水処理施設の公共移管を国の支援金も使い、早期に進めてほしい。	移管するための調査費用の予算化を議会でチェックしていく。国の支援金については美旗地域の進捗状況を踏まえて議会として見ていく。	■当日の返答どおり
2	大災害が起きれば名張川が氾濫し、橋の崩壊で地域住民6,500人が孤立する。国会議員・県会議員と改修を要望してきたが、市議会の協力も求める。	11月17日に近畿地方整備局に対して、関係市町村と共に議長も出席し、要望書を提出した。全国から寄せられる国への要望の中で少しでも優先されるように、市議会で取り上げ、県や国にも地域の皆さんと継続して働きかける。	■当日の返答どおり
3	財政難で地域づくり組織に対する交付金や指定管理料が減らされるのではないかと。人件費が上がっている中で交付金が減らされると事業の見直しをしなくてはならない。	ゆめづくり地域交付金の在り方はこれまで通り変わらないと担当部局に確認した。人件費、光熱費が高騰していることに対しては、議会の中でも国の経済対策の活用を提案しているが、地域づくり代表者会議で意見をまとめ要望を出していただければ議会も動きやすい。	■当日の返答どおり
4	選挙立会人の報酬が最低賃金にも達しておらずなり手がいない。	報酬は、令和7年6月に国が示した金額1万100円に改定した。	■当日の返答どおり
5	民生・児童委員を引き受けてくれる人がおらず、推薦について困っている。	民生委員の仕事の軽減と協力員体制について、議会として調査・研究を進めていく。	■当日の返答どおり

	質問・意見	懇談会等での返答	対応
6	災害が起きた時、民生委員の書類と地域づくりの書類の内容が違い、情報がバラバラで困る。行政で統一してほしい。	要支援者名簿は個人情報保護法の精査をする必要がある。この件は持ち帰り検討していく。	■当日の返答どおり
7	税金の未収はどれくらいあるか。	個人市民税、法人市民税、固定資産税などにおいて令和6年度(現年課税分)で約99%の収納率となっており、他の自治体に比べても優秀な率である。	■当日の返答どおり